

たがいの音をきき合って合そうしよう

(9 時間扱い)

1 . 題材のねらい

音の特徴や音色の違いを生かして表現する楽しさを味わう。

旋律の特徴や音色の違いを感じ取りながら，聴いたり表現を工夫したりする。

2 . 教材について

小学校学習指導要領

< 第 3 ・ 4 学年の内容との関連 >

(1) 茶色の小びん 作詞 芙籠明子 /

A(1)ア

A(1)イ

A(3)イ

作曲 ヨセフ ウィンナー

八長調であるために階名視唱から楽器の演奏へと活動を展開しやすい旋律である。教科書で扱われている合奏譜は，各パートの役割が明確で，子どもたちが合奏の構成に気づきながら演奏を工夫していく教材としても大変都合がよい。主旋律を中心にバランスの取れた合奏を実現するようにしたい。また，楽器の組み合わせを工夫して，音色の変化や響きを感じ取らせるようにしたい。

(2) ベスト・フレンド (音楽発表会の器楽曲)

作曲 玉城千春 編曲 小島里美

A(1)ア

A(1)イ

A(2)イ

A(3)イ

Kiroro のヒット曲。NHK の朝の連続ドラマ「ちゅらさん」の主題歌にも使われ，子どもたちの耳にもなじみがある。原曲は歌詞があるが，この題材では合奏の楽しさを感じ取らせるためにいくつかの身近な楽器による編成でアレンジされたものを選んだ。主旋律，副次的な旋律，低音パート，リズムパートがそろい，人数の多い合奏にも適している。また八長調の曲なので各パートとも読譜，視奏にも親しむことができる。互いの音を聴き合って，音の重なりや響き合いを感じ取りながら，自分の演奏しているのは主旋律か副次的旋律なのか役割や全体のバランスを考えながら演奏させたい。

(3) 音楽発表会児童の部 (鑑賞)

B(1)イ

B(1)ウ

南の星音楽発表会の児童の部の鑑賞。1 ~ 6 年生までの各学年の発表を使われている楽器の音色や声の響き，それぞれの楽器が組み合わせられて広がる響き合いのよさなど，工夫されている音楽表現などに気を付けながら，曲を特徴付けているリズムや旋律などにも注意して聴くようにさせたい。

3. 題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価規準	楽器の演奏や簡単な合奏に興味・関心を持って、主体的に活動しようとしている。	自分たちの演奏を聴いたり、表現の仕方を工夫したりしている。	旋律楽器や打楽器の適切な扱い方、楽器の基礎的な演奏技能を身に付け、合奏している。	音楽や友達の演奏の中から、よさや美しさ、工夫しているところを聴き取っている。
学習活動における 具体の評価規準	<p>様々な打楽器の音色の違いや特徴に関心を持ち、進んで聴いたり表現したりしている。</p> <p>様々な打楽器の音色を進んで確認 音色の違いに気付き友達に紹介 リズムや旋律などに気を付けながら、様々な音楽を進んで聴こうとしている。</p> <p>楽曲を特徴付けている要素へのたくさん気付き 集中して聴奏</p>	<p>音楽全体の流れを感じ取りながら、表現の仕方を工夫している。</p> <p>音楽に合った自然な身体表現 音楽の流れを自分のものとしている 音の組み合わせや各パートの音が重なり合って生まれる響きを感じ取って、曲想表現を工夫したりしている。</p> <p>ブレスや息の強さなどにも気を付けた演奏 他のパートを聴きながら演奏 適切な楽器選択</p>	<p>八長調の読譜に親しみながら、自分の受け持つパートを楽器で演奏している。</p> <p>スムーズな読譜 正確な運指・リズム 旋律楽器や打楽器の適切な扱い方、演奏の仕方を身に付け、主旋律、副次的な旋律、リズムを演奏している。</p> <p>自分のパートを正確に演奏 マレットや打楽器の演奏方法を考えた演奏 合奏の中で、楽器の持つ固有の音色の美しさを生かした演奏をしている。</p> <p>楽器の特徴を生かした演奏 常に音色の響きに気を付けて演奏 全体のバランスを考えて、工夫して演奏している。</p> <p>常に他のパートを聴奏 主旋律を意識した演奏</p>	<p>リズムや旋律などの楽曲を特徴付けている要素に気を付けて、音楽や友達の演奏を聴いている。</p> <p>要素を自分の言葉で表現 要素を数多く気付いている いろいろな種類の楽器の組み合わせによって生まれる、響きのよさや美しさを感じ取って聴く。</p> <p>響きのよさや美しさを数多くカードに記入 楽器の組み合わせによる音色の広がりをも自分の言葉で表現</p>

4. 指導と評価の計画

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	具体の 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>音楽の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱や指導用CDを聴く。 ・ パートごとに演奏したり,リズム打ちを したりして,音楽の感じをつかむ。 ・ , のパートを階名唱したり,鍵盤楽 器やリコーダーなどで演奏したりする。 ・ のパートのリズム打ちをする。 ・ 低音のパートを階名唱したり,リズム打 ちしたりする。 ・ のパートと低音のパートをリズム打ち で合わせてから,楽器で演奏する。 ・ 4つのパートを合わせる。 	<p>ア -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(1)ア</p> <p>A(1)イ</p>					<p>行動観察</p> <p>演奏聴取</p> <p>読譜</p> <p>チェック</p> <p>振り返り</p> <p>カード</p>
2	<p>合奏の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループを作り,それぞれのグループ内 でパートを分担する。 ・ それぞれのパートの楽器は何かよいか, グループごとに話し合う。 ・ グループごとに,合奏の練習をしたり, 音色の工夫をしたりして,演奏を仕上げ る。 	<p>イ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(2)イ</p> <p>A(3)イ</p>					<p>演奏聴取</p> <p>振り返り</p> <p>カード</p> <p>行動観察</p>
3	<p>音楽の感じをつかむ。</p> <p>(ベスト・フレンド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱CDを聴いて,曲全体の特徴をつか む。 ・ 手拍子を打ったり,身体表現したりしな がら,拍の流れに乗ってCDに合わせて 主旋律を階名唱する。 ・ 自分たちの演奏の工夫につながるよう, 感じ取ったことをカードに記入する。 	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>ア -</p>	<p>A(1)ア</p> <p>A(2)イ</p> <p>A(1)ア</p>					<p>演奏聴取</p> <p>行動観察</p> <p>振り返り</p> <p>カード</p>
4 5	<p>自分の受け持つパートの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のパートの旋律を読譜する。 ・ 主旋律パートを階名唱したり演奏したり する。(鍵盤ハーモニカ・リコーダー) ・ 伴奏パートを階名唱したり,演奏したり 	<p>ウ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(1)イ</p> <p>A(3)イ</p>					<p>行動観察</p> <p>読譜</p> <p>チェック</p> <p>演奏聴取</p> <p>振り返り</p>

4 ・ 5	<p>する。(ピアノ・アコーディオン・フルート・木琴・鉄琴)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーカッションパートをリズム唱したりリズム打ちをしたりする。(タンバリン・クラベス・大太鼓・小太鼓・シンバル) <p>各パートを組み合わせて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのパートを組み合わせ、相手のパートの演奏を聴きながら、全体の流れをつかむ。 ・3つのパートを合わせる。 	ウ -	A (3)イ					カード
6 ・ 7	<p>合奏の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに分かれたり、いくつかのパートが集まったりしながら、音色の特徴を生かした演奏ができるよう工夫し合う。 ・自分のパートが果たす役割に気付いて、受け持ったパートを演奏している。 ・互いに聴き合ってアドバイスし合ったり良さを見つけ合ったりする。 <p>音量のバランスに気を付けて合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習したところまでを、互いに発表し合い、楽器の音色や音の響きを確かめ合う。 ・同じ楽器の2つのパートバランス、主旋律と他のパートとの音量バランス、全体のバランスに気をつけて互いに聴き合い、よかった点や工夫したほうがよい点などを発表し合い、活動のまとめをする。 	ウ -	A (3)イ					行動観察 演奏聴取 振り返り カード 発言 (パート練習)
8 ・ 9	<p>みんなで合わせる楽しさを味わったり、旋律の重なり合いや音楽表現のよさを聴き合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムや旋律の表現に気を付けながら、他学年の演奏を聴く。 ・他学年の演奏をふしの重なりや声の響きなどに気を付けて聴く。 	エ -	B (1)イ					行動観察 鑑賞カード
		エ -	B (1)ウ					

